

新学期から2か月が過ぎました。蒸し暑い日々が続きます。疲労感もあると思いますが、本校の生徒はできる限りの力で頑張り抜いていると感じています。もちろん、小さな失敗は誰にもあります。大事なものは、それを今後はどう生かしていくかです。

**学校は生徒の「未来」を信じています。「今」は、たとえ分かっていなかったり、失敗があったとしても、指導したり考えさせたりするうちに、社会人として立ち立できるような「明日=未来」がきっと来るし、人は伸びる力を持っていると思うからです。**

## ◎ 最近の学校生活 ～頑張ってます！編～ ◎

- 5月29日(水)に、山口市教育委員会と山口県教育委員会による学校訪問があり、授業の様子を見ていただきました。生徒の授業に取り組む姿勢や、各学級の工夫ある掲示物について、ほめていただきました。
- 5月31日(金)に**中間テスト**がありました。特に1年生にとっては、初めての定期テストで、失敗もあったのかもしれませんが、現在の方が、テスト前よりもより**勉強に気合いが入っているようだ**と、これは1年の担任の話です。
- 6月1日2日に水泳の春季県大会がありました。以下のように活躍しましたので、お知らせします。大変立派な成績でした。

◎ 100 M平泳ぎ **末兼一輝 (第1位)** ◎ 200 M平泳ぎ **末兼一輝 (第2位)** ◎ 200 M背泳ぎ **伊藤 純 (第3位)** ◎ 4 × 100 Mフリーレー (末兼、横沼、室岡、伊藤) **第3位** ◎ 4 × 100 Mメドレーレー (伊藤、鍵田、末兼、横沼) **第3位**



- 年間で最大のスポーツ大会である**選手権**(全国大会に通じるので)の、山口市予選大会が、主に6月8日(土)9日(日)に行われました。3年生を中心として、力の限り戦ったと思います。県選手権に出場するのは、**男女バレーボール部、男女ソフトテニス部、男女バドミントン部、女子バスケットボール部、水泳部、陸上競技部**です。目標に向けてがんばってください。
- 朝読書が8時20分から始まりますが、全体的に取り掛かりが良いと思います。**特に2年生**は集中して読んでいる様子がよく伝わってきます。
- **登下校の交通の危険箇所について指導**をしましたが、素直な気持ちで聞いていると感じられました。また朝と放課後には該当箇所に先生方に立っていただき注意を払ってもらっています。私が見る限りは、話を理解し、一列になって歩いています。  
学校は第1に「命を守る指導」、第2に「心を守る指導」、第3に「ルールやマナー

を守る指導」をしていきます。登下校の交通指導や避難訓練は「命を守る指導」です。

## ◎ 最近の学校生活 ～残念です編～ ◎

- 朝読書のときや授業中に寝ている生徒が数人見受けられます。全体的によく取り組んでいるだけに、本人の学業的にも、周囲の雰囲気をも悪くしてしまう点でも、残念です。
- 何気ないひとことが、相手のところを傷つけることがあります。未熟な自我が表出してしまう時期だとは理解しますが、自分が幸せになりたいのと同じように、他の誰もが幸せになることを願っていることを忘れないでください。
- 朝夕のあいさつや通りすがりやお客さんが来られた際の「こんにちは」などは私の目からしても日に日に大きくなりつつあると感じています。しかし、授業前後のあいさつは元気がないと思います。授業に対する意欲が低いのかなあと心配になります。



- ◆ **もっと前向きに授業に取り組み、楽しみませんか？**
- ◆ **他人の痛みについて考えてみませんか？**
- ◆ **もっと認め合い、褒め合いませんか？**

## キャリア教育 — 地域学習(1年)・職場体験学習(2年)・修学旅行(3年) —

6月4日(火)午後に、「1年地域学習」を行いました。普段何気なく暮らしているふるさとですが、改めてお話を聞いたり(事前学習)、自分の足でテーマを決めて探訪することによって、改めてふるさと平川を好きになることができたのではないのでしょうか？



### 生徒の感想(一部)

◎ ○○くんはピリピリした空気を和ませてくれた。○○さんは班長として皆の中心となっていてがんばってくれた。  
○○さんはその場その場での発見をしっかりメモっていた。○○くんは遅れないよう一生懸命に歩いてくれた。

◎ 中野小学校跡で、自分の知っていることを提供できたことに、自分の成長を感じることができた。

◎ 自分から間をつめて歩くようにするなど、まず自分から動いて正しい方向に修正するという力を伸ばしていきたいと思いました。

◎ 今回の学習を通して、出会った人にあいさつをするという力が身についたと思

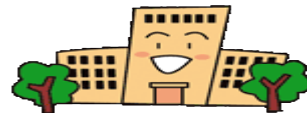
います。

5月22日（水）～24日（金）に関西方面へ修学旅行に出かけました。帰ってきた生徒の表情からは、疲れはあるものの、充実し楽しかったことがうかがえました。

生徒を無事引率して下さった3年部の先生方に感謝します。生徒には、もちろんおみやげもたくさん購入したことでしょうが、**おうちの方にたくさんのおみやげ話をすることこそが、「感謝」の気持ちを形にすることだと期待します。**



## ☆学校からのインフォメーション☆



◎ これは平川中学校（学園都市平川）の特色ですが、今後教職をめざす学生が様々な形で教育活動に参加しています。現在は教職大学院生が2名定期的に（一人週1日）、また前号でご紹介しましたように教育実習生が5名来ていました。そして「学習支援」という形で、それぞれ週1日2～3時間ですが、2名の大学生が生徒支援に来ています。今後も、夏休みや3年生の入試前などに「おおすぎ塾」（これは学生に限らない）と銘うって補習教室を行いますし、体育祭前には「教員体験」の学生も募集しているところです。幼保・小・中・大がこれからも連携していきます。

◎ 道徳授業の充実をはかるためにも、年齢や生活環境の違う方の考え方を知るためにも、「地域の方とともにグループ討議する道徳」を実施しています。昨年度は学期1クラスの実施でしたが（1回に8名の方を募集）、今年度は倍の学期2クラスで実施（1回に16名の方を募集）を目標にしています。ぜひとも御参加をお願いします。

※ 中学校では今年度から、道徳が「特別な教科道徳」に教科化されました。

◎ 6月26日（水）～28日（金）は、参観週間にしております。どなたでも学校へいらしていただき、学校や生徒の様子を見ていただき、また御意見、御感想を聞かせていただくと、ありがたいです。またその中の27日（木）には、「本物に触れ合う会」と銘うって、今年度は劇団はぐるま座による『動けば雷電の如く』を本校体育館にて13：40から上演します。こちらの方もふるって御鑑賞ください。もちろん無料です。

## シリーズ：先生方へのインタビュー

あの頃あなたも中学生だった…

現在の3年部の先生方→

- ① 中学時代の部活動
- ② こんな中学生でした
- ③ 好きな言葉



山崎八恵子先生（学年主任）

- ① バasketボール部
- ② 毎日部活に明け暮れていました。今でも懐しい思い出です。
- ③ Dreams come true.

鈴木邦幸雄先生（3年1組担任）

- ① 水泳部
- ② 水泳部でしたが、朝昼放課後と、とにかく皆でサッカーばかりしていました。
- ③ 失敗することを恐れるより、何もしないことを恐れなさい（本田宗一郎氏のことば）

宗近亜美先生（3年2組担任）

- ① ハンドボール部
- ② 一人称が「オレ」でした。現在よりもワイルドな中学生だったと思います。
- ③ あきらめたらそこで試合終了だ

林直幸先生（3年3組担任）

- ① 吹奏楽部
- ② 悩み多き中学生でした。
- ③ 一期一会

吉田紘子先生（3年4組担任）

- ① ソフトテニス部
- ② 恥ずかしがり屋で人前に出ることは苦手でしたが、人を笑わせることが好きでした。
- ③ 実るほど頭を垂れる稲穂かな

北村貴史先生（3年5組担任）

- ① サッカー部
- ② 明朗快活な、とにかく明るい中学生でした。
- ③ 「粉骨砕身」

来島龍夫先生（3年副担任）

- ① 卓球部です。臨時で、ハンドボール部と陸上部（砲丸投げ）もやっていました。
- ② 真面目でしたが、恥ずかしがり屋。生徒会副会長でした。
- ③ 一期一会

白石純子先生（3年副担任）

- ① ソフトテニス部
- ② いろんな面で不器用な中学生でした。
- ③ ありがとう



## 特別編集！！夏に向けて部活をガンバ！ 先生方に聞きました「私の部活動の思い出」



- ◇ 中学校のときに大病をしてドクターストップがかかり、部活はマネージャーとしての活動でした。歳とともに体力の衰えを感じ、若いときに筋力をもっと鍛えるべきだったと悔やんでいます。でも、中学校時代の部活の仲間とは、今でもプチ同窓会をして集まっています。
- ◇ ある体育館で練習試合をしていたときの出来事です。インシューズのまま、本来なら下足で行かなきゃいけない冷水機に友人と行って、見つかり、めちゃくちゃ叱られました。体育館をていねいに使うことができない人間は、試合に出る価値はないと言われ、ずっと外周を走りまわりました……。苦いけど、きちんとしようと思ったエピソードです。
- ◇ 1年生のときは、「基本練習+球拾い」。でもそれを一生懸命やったことで、3年生になって大きな花が咲いたと思っています。ムダなことなんてないのです。
- ◇ 高校時代は弓道部に所属していました。日々の練習に励んでいました。しかしある大会の前にスランプになってしまって出場を諦めていた私に、先輩や顧問の先生がこうしてくれたのです。「今の成績ではない。一日も練習を休まず真面目に取り組んできた人を、選手として登録する。」と。大会までに調子を取り戻し、中国大会まで進むことができたことは、忘れられない思い出です。
- ◇ 私はチアリーダーをしました。球場で闘っている選手とともに、笑ったり泣いたり・熱い夏を過ごしました。私自身はスポーツは苦手だけど、応援ならできると考え、私にとっては少し背伸びして入部しました。今なお色あせない青春の思い出です！！
- ◇ 新採で陸上部女子を持った。最初、「ふきだまり」と悪口を言われる部だった。しかし、段々と力が付いてくるに従い、心も育っていった。多くの部員が、自分の弱さと戦い成長したし、それを間近で見ることが、本当に楽しくて、部員が好きでたまらなかった。その中で、障がいをもつ子が入ってきた。電車の中でおもらししたこともあったし（もちろん他の部員が、すぐに駅でバケツやぞうきんを借りてきて始末した。その行為も立派だった。）、自分を抜いた相手の腕を引っ張ったこともあ

った。その彼女が、推薦で高校へ行き、高校でも陸上を続けて県で6位になり、やがて実業団でも走るようになった。現在は引退しているが、今も時々手紙がくる。「陸上との出会いが、自分を変えた。」と彼女は語ってくれる。忘れられない選手の一人だ。

- ◇ バスケットボール部でめちゃくちゃ鍛えられ、毎日走っていたら、中1のときまでのろまだった私が、中3のときには学年で1番足が速くなっていました。まさに「継続は力なり」です。
- ◇ 大学2年のとき、秋の大会。団体戦、ダブルスともに優勝し、最後のシングルス決勝のとき。左足首をケガし、薬でちらしながら試合をした。最後は足首がしびれ、動けなくなって敗けた。それが思い出です。
- ◇ 中学校では野球部でした。当時はサッカー部がなく、グラウンド独占で練習できました。その分、部員も多く、練習メニューも豊富でした。それをこなす日々でしたが、仲間がいたから楽しかったですね。
- ◇ ケガをして試合に出られなくなった。健康管理の大切さ、そのときに仲間を応援できる心の強さが大事だと学んだ。
- ◇ 自分は慎重に考えるというよりは、「憧れ」で行動する人間でした。小学校ではペレ（生徒のみなさんには分からないでしょうが）に憧れて少少サッカーに入り、中学校ではさして足が速いわけでもなかったのにショーター（知るわけですね）がすごいというので陸上部に入り、高校ではカッコイイからという理由でバスケ部に入り、大学では「嗚呼！花の応援団」（これも生徒のみなさんには分かりませんね）に涙して応援団に入り、教員になっても昔読んだ「空手バカ一代」に憧れて空手をするという、そんな活動歴です。自慢できるほどの戦歴はありませんが、「憧れ」力というのは結構絶大なパワーを発揮します。

